

事業主体

福島大学 食農学類

調査研究名

土地利用型農業の振興と農地再生プロジェクト

調査研究の概要

地域が抱えている2つの課題、

- 1) 耕作放棄による荒れた農地の「農地再生」
 - 2) 土地に適した農作物やその加工品を振興する「土地利用型農業」
- について調査研究を実施した。

実施内容

「農地再生」の調査	小高区において、スマート農業を実施している大規模農業法人と有機農業を実施している小規模農家の農業体系を調査し、農地再生としての農業体系について検討した。 食農学類の学生が大規模農業法人を視察し、学生の意見を収集した。
「土地利用型農業」	土地利用型農業経営による農地の効率的利用・市場対応、経営状況について調査を行った。南相馬市6次産業化・地産地消実行協議会に参加し、特産品や、加工品開発などの情報を収集した。 南相馬で生産されている米のPRの検討や、なたね油の成分分析を行った。

調査研究期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

南相馬市の課題

調査研究により

「農地再生」において、スマート農業を展開しているような大規模農業法人に就職し農業に従事するモデルや、小規模個人農家として独自の農地利用を構築する個人経営モデルなど、新規就農者の状況に応じた多様な農業モデルと、希望にマッチする情報を提供することが重要であることがわかった。

「土地利用型農業」においては、市内全域で生産している南相馬米の品質調査をし、エビデンスをもとに南相馬米の振興を強化していくことが重要である。

従来から生産加工しているなたね油の成分の分析を今後進めることで、品質改良やPRに使えるデータを供給できる。

という状況が判明し、南相馬市の課題が明確になった。

課題解決の提言

課題解決のためには、以下のような取り組みが必要とされる。

- ・小高区において地域全体の農業を活性化するために、コミュニティの再生や活性化を行うことで、居住する地域の価値を上げることが重要。
- ・自治体と大学が共同で、南相馬米の品質・味を科学的に明らかにして、広く開示し、品質の向上・維持をねらうことが必要である。
- ・ナタネ油は栽培方法・成分の分析を進め、品質改良やP Rにつかえるデータを供給し発展させていくことが重要である。